

# 政策課題討議

## 課題用紙

### 注意事項

1. 政策課題討議試験は、第一部と第二部に分かれています。第一部は課題に対する意見をまとめ、個別発表及び討議用のレジюмеを作成し、第二部は作成されたレジюмеを基に個別発表及び討議を行います。
2. 課題は**1題**、レジюме作成時間は正味**20分**です。
3. レジюмеの作成について
  - (ア) レジюме作成用紙は**1枚（片面）**です。裏側は使用しないでください。
  - (イ) レジюмеはコピーを取って、グループ内の各メンバー及び各試験官に配付しますので、レジюме作成用紙の枠内に濃くはっきりと内容が分かるように書いてください。
  - (ウ) 分かりやすく簡潔に作成してください。形式は自由です。箇条書きであっても、図や表を用いても構いません。
4. この課題用紙は、本試験種目終了後に回収します。
5. 下欄に受験番号及び氏名を記入してください。

受験番号	氏名
------	----

指示があるまで中を開いてはいけません。

## 討議課題

2024年4月に、物流産業の職場改善のため、トラックドライバーに「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」（平成30年法律第71号）が適用されます。これによれば、時間外労働の上限が年間960時間に規制されるなど、一部のトラックドライバーの労働時間が短くなることが想定されており、輸送能力が不足し、物流が停滞しかねなくなるという、いわゆる「2024年問題」に直面しています。具体的には、このまま推移すると輸送力が2024年度には14%（トラックドライバー14万人相当）、2030年度には34%（トラックドライバー34万人相当）不足し、今のように物を運べなくなる可能性があるかと推計されています。

このような状況を踏まえ、具体的に、「（1）商慣行の見直し」、「（2）物流の効率化」、「（3）荷主・消費者の行動変容」のための施策が講じられようとしています。

この中で、「（2）物流の効率化」の1つの施策として、「高速道路のトラック速度規制（80km/h）の引上げ」（注）が掲げられています。この施策によって、輸送力の維持が期待できる一方、交通事故の発生を助長しかねないという懸念もあります。

以上を踏まえた上で、この「高速道路のトラック速度規制（80km/h）の引上げ」について、「賛成」か「反対」かのいずれかを明記した上で、その理由やあなたの意見について、個別発表及び討議用のレジュメを作成してください。

（注）具体的な記載内容は、以下のとおり

「交通安全の観点から現在80キロメートル毎時とされている高速自動車国道上の大型貨物自動車の最高速度について、交通事故の発生状況のほか、車両の安全に係る新技術の普及状況などを確認した上で、引き上げる方向で調整する。」